いわき民報

電一八三番　四八　平市田町　発行人　已克輝　印刷人　千　編輯兼

日刊　但月曜を除く

定価一月一廿五円一部九十錢

發行所　いわき民報社

一向に應募者がない

求人殺到にも

新制中卒者は就職は嫌いか　安定所町村に出張相談所を

平公共職業安定所では新制中學卒業生を希望する求人申込みが多いのに一向應募者が鈔ないので各町村へ出張職業相談所を開設することになり二十七、八の兩日内郷、赤井、好間、三十一日平市内を三方部に分け求人開拓を行うことになった、現在まで未充足の求人者は次の通り

◆片倉製糸（平）五〇名◆我孫子製糸（千葉）二〇名◆鐘紡東京　〇名◆富士水山（靜岡）一〇名◆鐘紡相馬（埼玉）二名◆土屋紡績（埼玉）八名◆富士本社（埼玉）一〇名◆日本繊維（群馬）五名◆佐藤鐵工所（平）二名◆常磐交通一〇名◆平木製工業八名◆福島產業一〇名◆太田アンプル一〇名◆國際電球八名◆東北ガラス五名◆松崎ガラス一五名◆田邊製作一〇名◆赤井木工一名◆岡本ゴム一五名◆赤井製作一五名◆日本窯業一名

榊原代議士來平講演

二十九日生協總會

平生活協同組合では二十九日午後一時より本社ホールで總會を開き昨年度決算報告、剰余金の處分などについて協議する、なお元政務次官榊原千代代議士の講演も續いてあり夜は炭勞會館で講演と座談の會を開く豫定

全學級に放送設備

平第一小學校では二十四學級に放送設備を施して一層教育の充實を期そうとPTAの評議員石坂一雄氏等が中心となり各父兄に呼掛けるリとになった

四倉電機工業問題提訴

來る二十八日福島市で開らかれる地方勞働委員會には、三月來解決だった電機工業株式會社四ツ倉工場（組合員三四名）の平均賃金三千円値上げ（現行二千百円）並にクロースド、ショップ制を含む團体協約でい結等にからむ紛爭問題調停の採否を決定する

飯食物取扱狀況を視察

市衛生課では二十八日より縣衛生委員一行の來平を機に旅館、喫茶店、外食券食堂、獸魚肉業者、製パン業、冷菓製造業、鮮魚介販賣者、其の他飲食物取扱業者を全日公會堂に集め調味材の取扱い說明會を開くとゝもに翌二十九日は右業者の調理場及び便所等の視察を行う

平窪の鑛害問題解決

工費一割增額と杭木も加えて

鑛害問題の現地調査は二十四日午前十時から石炭局側から伊藤保安課長、會社から村松所長、市對策委員會より柴田委員長以下全員、關場市經濟課長並に被害者代表などが參集現場一同ののち中平窪福田長一郎氏宅で會合、先に兩者間で決定した工費八万六千余円に對し一割の增額と杭木代三千円を新たに被害者側から要求し結局會社側でもこれを認めて円滿解決、二十五日市經濟課にだてこれが調印を行つた

委員長には小名濱町小野務平氏

農業會財務理委員初會議は二十四日午後二時から開いて委員長に小野務平氏を推し、事務所、委員の權限、處理方策等について疑義を質した

明るい街に建設

街頭協力會を

會者各代表各町内のうきで

明るい街の建設には先づ街燈の完備が先決だと市では各區を下部組織とする街燈協力會をつくつて街燈維持費や電球の補充に當てようと計畫二十四日各區代表者に了解を求めた、今後は市が各區の街燈費を一括支拂し各區は每月市へ維持費を納入することになる

無線通信士養成講習會

四倉無線通信士會では同町漁業會の後援に依り七月一日より四十日間漁業會

新生の賣行頗る快調

光は來月から平市内だけで販賣

値下げ當時在庫三百万本もあつた專賣局平出張所の新生は發行極めて好調で二十日にはもう賣切れとなり二十四日には三春から九十七万本が到着したので一安心した、近日中には原の町二百四十三万本、富岡八十一万本が入荷するので今明月中は先づ品切の心配はない見込み、なおかねて發賣豫定にあつた光は敗戰の開係で來月早々平市内だけに賣出される

市隔離病舍閉鎖さる

きのうで完全に

市傳染病隔離病舍は二十四日チブス患者が退院したので閉鎖した、五、六月中傳染病患者一名もなく閉鎖することは例年になく係員を喜ばせている

新生小賣人表彰

平煙草販賣組合が

平煙草販賣組合では百万円賣クジ付新生の消化に努めた小賣人に對し次の如く表彰狀を贈る

◇二等平市猪狩ワカ外十三名◇二等四倉面川貞之助外十三名◇三等江名安齋サノ外十九名◇四等大野高木忠吉外三十六名

求空賣住宅

平市内　二十坪　内外土地付も可　左へ照會乞う

平市白銀町やよい館方　青木

列車取締り

收穫は依然多し

平署では二十四日より二〇二、二〇八、二三二の三列車を急襲したが收穫は左のとおり（單位ヵ）

【有主物】◇うるち精米八六件四六〇◇糯精米一件三◇大豆三件九◇小豆一件四二◇丸麥四件一九◇甘藷一件五貫

【無主物】◇うるち精米一〇六件五三二◇小豆一件五◇鮮魚介類一件二貫

婦人靴

二十九日夜九時半ころ當店前におわすれの方は至急お出で下さい

平市魚町五四　石川

いわき寸言

◇幸運の手紙現はる、通信料增收をはかる政府の手先か◇新制中卒者は就職はお嫌いさてこの原因は？◇眞面目に働いて食えぬ世ちやもの無理はないと申すべきか

いわき案内

有名商店

小型自動車　三輪車　部分品販賣修理　橋本モーター商會　平市白銀町

パーマネント　ウエーブ　婚禮着付　水野化粧院　平驛前電六七八

機具と金物類なら當店へ　金物一式卸小賣　川口屋　柳内商店　平市田町電九一一

御食事と飲もの　御土產物場御利用下さい　十一屋食堂　ミナサン　平市四丁目三七二

リーダーズ・ダイジエスト（6月號）自由販賣　26日正午より　ササキホンヤ　角忠書店　平二丁目TFL285

帽子と化粧品　エンドー　平市二丁目電一〇二六

樂器・樂譜はトンボハーモニカ　特約店の　菊屋樂器店　平市二丁目

小鳥飼鳥のことならなんでも當んで御相談致します　橋本飼鳥店　平市仲町市役所前

藥の御用は　開内藥局へ　平市四丁目電四〇

なんでも安い　小間物化粧品　いづみや　平市驛前電二四八

切削工具　測定工具　ベアリング　合資會社スサト商會　平市五ノ一電二七八

考古學の權威
後藤守一先生を迎えて
(一)

史談會顧問　根本忠孝

兼ねて來村を待望していた考古學の權威、明治大學教授後藤守一先生は江坂輝彌氏、吉田格氏の兩少壯考古學者と共に、昭和二十三年五月一日午後五時五十分川前驛着、出迎の私の案內で一里の道をたどられて拙家橘月庵に宿を求められたのである。この際、內郷町宇白水の菊地康雄君も來宅されていたので私と共に夜の更くるのも知らずに、珍客後藤先生を圍んで和やかに考古學上に就いて聽くことを得た。後藤先生は先づ私の蒐集した石器時代の遺物を一通り目を通し、そして懇々と次のやうに語り續けたのである

先史時代の人々

『私共の遠い先祖が、日本の國に住むようになつた始めはいつ頃であつたでしょうか、これが分るとよいのですが、今の所でははつきり何年前頃なんて言うことは出來ません然し近頃研究が進むにつれて其頃の始めが、三千年や四千年前位のなまやさしいものではない、もつと／＼古代であると云うことだけは段々分つて來ました。ところが、そんな大昔の時代のことは歴史に書いてないのです。歴史に何も書いてない大昔の時代を先史時代と呼んでゐます、歴史のある時より前の時代だと云う譯です。

皆さんの中には、歴史に何も書いていない時代の事がどうして分かる。夢を見たような話をしては困ると思う者もありませう。ところが私の話は決して夢ではありません。其時代の人々の使つた道具の一部が土中に埋つているのであります。又其頃の人が住んだ家はくさつてしまつたが、多少其跡がやはり土中に殘つていることがあります。それらを調べると細かい事は分らなくとも、大昔の人々がどんな生活をしていた位の見當はつくのです。大昔の人々の使つたことのある道具の類で、今日まで腐蝕もしないで遺つているものを遺物といゝますし、その人々の住んだ家のあとゝ云うような所を遺蹟と呼びます。此の遺物や遺蹟をよく調べて古代の文化つまり古代の人々がどんな生活をしたかと云うような事をはつきりさせようとする學問を考古學というのです。

僞電で誘出して荒す
巧妙を極めた空巣の新戰術

念の入つた僞電報で呼び出しその留守を狙い悠々と家中を荒しとつて置きの一張羅ばかりをまんまと失敬し恐しく手口細工の細かい衣類泥事件―市內北目町無職坂本爾枝さん(三八)方へ去る二十二日午後三時ころ湯本局發信の「用事ありすぐ家まで來い」の電報が舞込んだ、てつきり湯本にいる實妹が打つたもので余程の急用だろうと即刻バスで馳けつけてみれば當の本人は全然知らないとのことにあつけにとられたが遲いのでそのまゝ一泊翌二十三日午後歸宅してみるとなんと家中はメチャ／＼に荒され大島女羽織など命から二番目の衣類ばかり八點、時價六千五百円相當を盜まれていた、泣くにも泣けずに平署へ訴え出たが署では內部に明る者の仕業とにらんでいる

幸運の手紙　市に現る
迷信に迷う勿れ

またぞろ幸運の手紙が世間を騷し始めた―二十四日平市四軒町の某復員者宛に仙台から次のような文面のハガキが屆いた、この手紙の最初の發信地は東京都瀧ノ川町一ノ二三三手部宮一郎となつていたとある、平署でもこんなものに迷わさることのないよう市民に警告している

このハガキ受取り次第同文面の便りを九人の人に出して下さい、十日以內に幸運が訪れるそうです、若し出さずにいると大變な事になるといゝます、迷信と思はないで下さい

なお受信者の某氏は仙台あたりの知らぬ人で自分の名前がよく判つたものと驚いている

精神科　內科　平市掻槌小路　アラタメ　新田目醫院　電15

自立劇團コンクール
入選團体等決る
30日第二回豫選を平で

本社協賛毎日新聞主催自立劇團演劇地區豫選大會は二十三日內郷淺野記念館、二十四日湯本自治會館で催したが左記四團体と個人演技賞では次の五氏が入選した、然し縣大會に出場せしめる代表團体は技倆伯仲選衡困難なため來る三十日第二回豫選大會を平市で開き決定することになつた

◆團体入賞◎磐女文藝部◎內郷兒童文化研究會◎日曹福島炭鑛勞組文化部◎吳羽化學工業勞組文化部

◆演技賞◎磐女岡田郁枝◎內郷演劇集團草野敏夫◎日曹福島炭鑛神田末子

◆演出賞◎日曹福島炭鑛長澤宏◎內郷兒童文化研究會

ヘマな麥泥　余罪ばれる

【既報】市內正月町平精麥工場を襲い煙突に逃げ上つて捕われた麥泥月見町職工前科一犯鹿志村義隆(二一)は去月上旬も前記精麥工場から麥七升を盜んだほか去る十三日夜も田町常磐石炭助成株式會社自動車修理工場から酸素ボンベーに取付けてある酸素減壓辨一個時價五千円相當を盜んでいた余罪も判つた

平郵便局　賞品授與　(二十三)

平局では第二回割增付定額貯金の一等當籤者に對し二十七日賞品引渡しを行う、受賞者次の通り

▽自轉車平市四軒町一六猪狩ヨネ▽リヤカー飯野村上高久字菅田三五野口義雄

金庫は甲子(キノエネ)　大型・小型・手提(在庫豐富)　廣屋金庫部　小名濱　電話一六一

團體個人ともに優勝
獵友會クレー射擊大會に平支部が

獵友會平支部は二十二、三兩日福島市で開かれたクレー射擊大會に團体で五十四點を獲得、一位の中村を十四點も引放して優勝又個人も三十三點を得て馬目太平治氏が優勝、射擊平の誇りを高かに示した

巷の出來事

落磐壓死　二十四日夜七時半ころ、常磐炭鑛湯本鑛第五坑東斜坑北新斜坑引立で作業中の採掘補手佐藤吉見(三七)は落磐で重傷手當を加えたが間もなく死亡

馬一頭盜まる　(二十三)　市外鯨岡字洞口農松崎龜吉さん(七〇)方では二十四日夜馬小屋から鹿毛一頭時價三万五千円を盜み出された

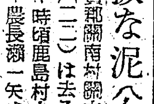
千圓をすらる　二十五日午前九時頃市內八幡小路刑務所官舍內無職太田トリさん(五二)は三丁目中野洋品店で配給衣類を購入中手提鞄から三千円相當の革財布並に現金千円をスラる

オーバーを盜まる　(二十二)　市內南町無職高橋チヨさん(四三)方では二十四日午後二時半ころ不在中タンスから女物冬オーバーほか一點一万八千円相當を盜まれた

間拔な泥公

茨城縣多賀郡關南村關本下無職小松積(二二)は去る二十二日午前十時頃鹿島村大字上矢田字坂下農長瀨一矢さん(六一)方の留守を狙つて米一斗亚に風呂敷、地下足袋などを盜んで納屋內にかくれているところを平地區署員に御用

灰皿



一、時　二十四日夕四時ころ
一、場所　平市某銀行角
一、人物　巡查數名靴屋君二名、その他通行人大勢

靴屋君四圍を眺めつゝ客を探している、そこへお巡りさん數名登場、一言、二言輕口の應酬よろしくある、そのうち一名の靴屋君チヨコ／＼と前の洋品店と飲食店の間のゴミ箱の前に走り寄つて『こゝでやつても好いペエーナ』―お巡りさん『お手輕に頼むぜ』―やがて放水試驗……これを眺めた通行人『あれをオレ達がやつたらなア！』―思い入れよろしく幕―

法廷だより

市內仲間町仲介業坂本梅治(へ九四)が昨年六月正月町鈴木正平さんからタイヤーを買つてやると四千円を又同年八月十六日仲町石山隈雄さんからも同樣に四千五百円詐取したほか十月中には南町土木建築請負業飯岡敏治さんから渡邊照に渡して來れと依頼された五千円を橫領した事件は二十五日平出張裁で懲役一年二年間執行猶豫判決言渡しがあつた

五月人形陳列即賣會

お馴染の東京一流の人形師王扇が出張即賣致します

期日　五月二十四日から六月十二日迄

場所　平驛前中央通り世界館側　大和屋酒店內

東京人形問屋　王扇

產婦人科　外科　泌尿器科　實川醫院　院長　實川彌太郎　實川泉二　平驛前電二七〇

內科　小兒科　三井醫院　平市仲田町六九　三井五郎　電六一